

スキー指導員・準指導員養成講習会（基礎理論）

日時：11月18日（日）

場所：市川町保健福祉センター

主催：兵庫県スキー連盟

参加者：ベルスキー 3名

レポート：あわおどり

準指導員の受検を思い立ったのは、子供たちがそれぞれ独り立ちをし始め、だんだん家族でスキーに行く環境が少なくなってきたなと感じてきた事と、自分も五十路をまっしぐらに突き進んできており、そろそろ定年退職後の自分の人生を考えたときに、今のうちに資格を取っておくことも悪くはないなと、考え始めてきた為です。

10月の総会時に、今年受検者は何名位いるのだろうか？ いつもベルは多量の受検者を送り込んでいるので、今年も5-6名位はいるのではないかと思いつつ確認をしてみると、準指は2人だけ？ 正指も1人と、ベルとしては寂しい受検者数となりました。準指は2人だけなので、まんちゃんを隊長として少数精鋭隊を結成して臨むことにしました。また今年受検者の一人にご近所のパト兄さんがいらっしゃるので、非常に心強く、今回は車も出していただき、ありがたく便乗させて頂き講習会場に到着したのです。

今回の講習会ですが、理論は私にとってはもしかしたら一番の鬼門になるかもしれません。本当に年齢からか、最近物忘れがひどく、このような教科書を使っての勉強なんて本当に何年ぶりだろうかと思い返してみたら、1▲年ぶり位かな？と思われる位に久しぶりです。

さて会場に入って、今日のスケジュールを見るとどこかで見たような名前がありました。我がベルスキークラブのYJ氏が講師として2科目講義していただけるという内容でした。参加者は全部で40人位と去年とほぼ同じ位の受講生が参加しておりました。



○開校式

F理事のご挨拶では、指導者の心構えについてと、資格は自分の力で勝ち取るような事をお話をいただきました。妙に緊張しました・・・。

○講義について

YJ氏は、最初の「スキースポーツの歴史的な背景」と午後から「指導方法理論」の2科目の講義をしていただきました。（ちょっと緊張気味でした・・・かな？）

自称ロッカー教祖のA常務理事からは、ちょっとした面白い情報も含め色々な話を聞けました。

その1：来年度は、教育メソッドが大きく変わる可能性大！

なぜなら「自然で楽なスキー」の理論監修をしているi教授が今回からはずれ、あの渡部三郎元デモがSAJの技術委員長になられたようです。



(来年受検だとまた一から覚え直さなければならなくなるかも?)

その2：ニュートラルポジションが谷回りの入口→できないと谷回りにならない。

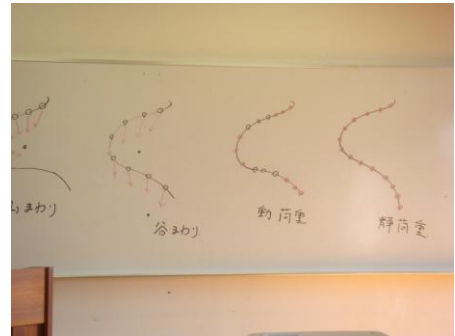
→できない人は、抜重動作が表れる。(上下動は減点対象になる)

その3：谷回りに「クロスオーバー」はない。

→フェイスコントロールで相対的水平面に垂直に荷重をかけているので、運動軸がぶれることがないためと言う考え方(汗)

その4：おこし回転理論→走り高跳びや走り幅跳びの踏切の際の踏み足の荷重のかけ方からくる反動を……
もうわからん?すみません。

その5：フェイスコントロールの新しい考え方などなど



30分の予定時間を大幅に超えて、内容の濃いものとなりました。現役指導者の方々は、1月の指導者研修会でたっぷり勉強してきてください!

終了後に、指導員受検の方は別途ミーティングを実施して兵庫チームとして気合を入れていただいたそうです。

